

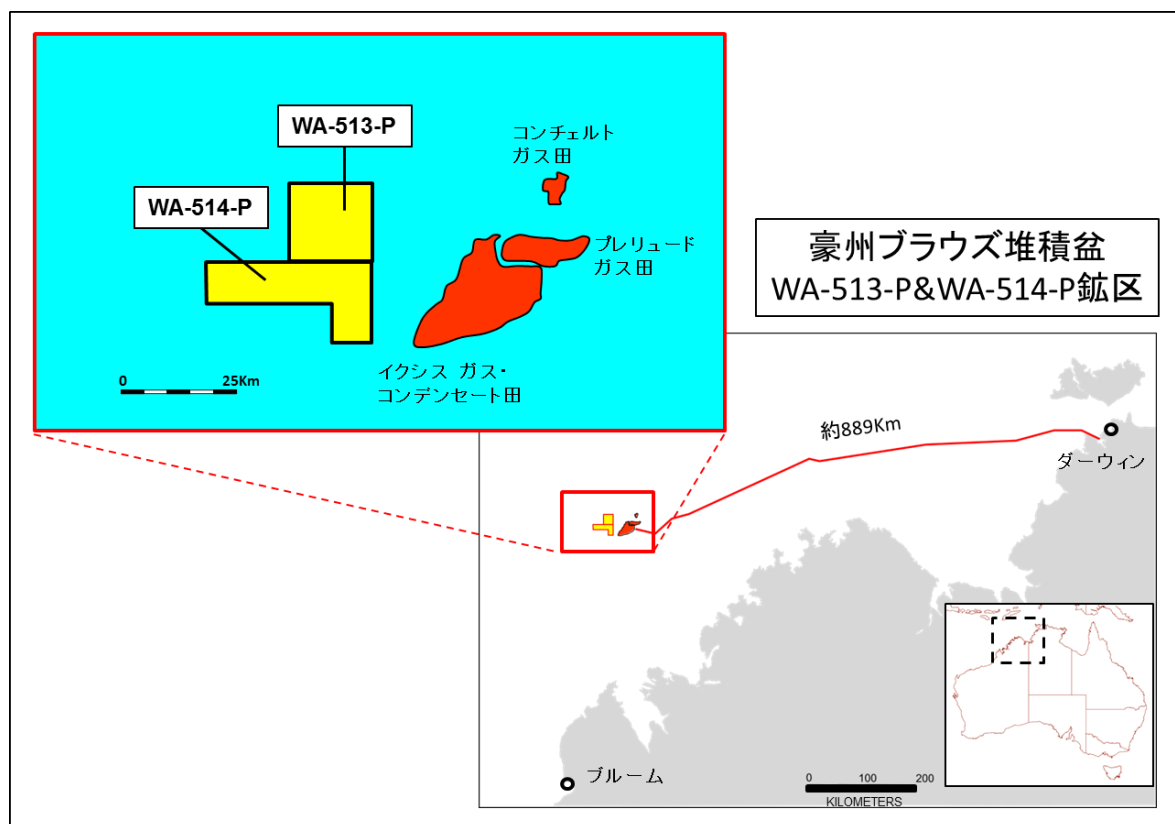
平成 27 年 2 月 24 日

各 位

会社名	国際石油開発帝石株式会社
代表者名	代表取締役社長 北村 俊昭 (コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先	広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 橘高 公久
電話番号	03-5572-0233

オーストラリア 西豪州沖合  
探鉱区 (WA-513-P および WA-514-P) の落札について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、当社子会社のINPEX Browse E&P Pty Ltd（以下、同社）を通じて、このたび実施された2014年オーストラリア探鉱区公開入札において、オーストラリア西豪州沖合に位置する探鉱区（WA-513-PおよびWA-514-P。以下、両鉱区）をオーストラリアのサントス社とともに落札しましたので、お知らせいたします。



WA-513-P 鉱区および WA-514-P 鉱区ロケーション

# 国際石油開発帝石株式会社

## INPEX CORPORATION

両鉦区は、西豪州ブルーム市の北北東約500キロの沖合に位置し、鉦区面積はWA-513-P鉦区が約335km<sup>2</sup>、WA-514-P鉦区は約415km<sup>2</sup>であり、いずれも水深は約300～400mです。両鉦区における権益比率は、いずれも同社が40%、オペレーターのサントス社が60%を保有します。

両鉦区の周辺では、当社グループ会社がオペレーターとして開発作業を推進しているイクシスガス・コンデンセート田（イクシスLNGプロジェクト）や当社子会社がシェル社とともにフローティングLNG方式により開発作業を行うプレリウドガス田やコンチェルトガス田（プレリウドFLNGプロジェクト）が位置するなど複数の有望なガス田等が発見・開発されているほか、当社がサントス社とともに権益を保有するWA-274-P鉦区でガス層が発見(\*)されるなど、両鉦区は有望なエリアと期待されると同時に、サントス社との更なる関係強化も期待されます。

(\*)WA-274-P鉦区でのガス層の発見については2014年8月25日公表のプレスリリースをご覧ください。

<http://www.inpex.co.jp/news/pdf/2014/20140825.pdf>

今回の両鉦区の落札により、イクシス ガス・コンデンセート田の周辺に位置する同社及び当社子会社保有探鉦鉦区は合計13鉦区となり、当社の中核的事業地域であるオセアニア地域での取り組み強化に資するものです。また、イクシス ガス・コンデンセート田の周辺鉦区での積極的な探鉦活動は、イクシスLNGプロジェクトの将来価値の拡大を図るとの当社方針に沿うものです。

当社は今後とも、オーストラリアをはじめ、アジア・オセアニア地域での事業展開に積極的に取り組んで参ります。

なお、本件による当社連結業績への影響は軽微であります。

以上